

# あいちの印刷

8

2025.8  
No.645



白糸の滝（静岡県富士宮市）

## もくじ

- 巻頭言「毎日が異常なら、それは日常」…………… 3
- 全印工連／中部地区協上期会議 全日本印刷工業組合連合会  
中部地区協上期会議（三重県会議）…………… 4
- 全日本印刷工業組合連合会 令和7年度事業計画基本方針 …… 5
- 中部地区印刷協議会 分科会報告…………… 6
- 印刷営業社員のレベルアップ「印刷営業士」資格取得…………… 8
- 「印刷営業技能審査認定制度」…………… 9
- 令和7年度「印刷営業講座」日程とカリキュラム……………10
- 新しい事業に取り組み、変革に挑戦する組合員を募集  
「Resilience Award（レジリエンス・アワード）」……………12
- 愛印工組・7月期理事会 組合創立70周年記念……………12
- お知らせ……………13
- 「永年勤続優良従業員表彰」のご案内……………13
- 第62回光文堂新春機材展「Print Doors 2026」出展社募集 14
- クリエイティブ業界で働く若手のための交流会の案内  
第6回「クリエイターフェスト名古屋」……………14
- 編集だより……………14

人に 社会に 想いを カタチに

**O//O** 愛知県印刷工業組合

FUJIFILM  
Value from Innovation

成長は、「省資源」から。

もっと強く、もっと付加価値の高い印刷ビジネスを実現するために  
富士フイルムは提案します——成長は、「省資源」から。  
材料・工数・水・エネルギー・排出、  
これまでの「コスト」を減らし利益に還元。  
製版・印刷工程を軸にした、  
独自のソリューション「FUJIFILM SUPERIA」が  
あなたの会社をどこよりも強いものへ変えていきます。

**FFGSは、戦略的『省資源』で、  
トータルコストダウンを支援いたします。**

「減らす」がつくる、クオリティ **FUJIFILM SUPERIA**

富士フイルムグラフィックソリューションズ株式会社

RMGT リョービMHIグラフィックテクノロジー株式会社

# RMGT-CSPI

## ともに創る印刷の未来



印刷会社のSDGs達成のためのソリューションを提案、具現化するRMGT-CSPI。  
各分野の企業が連携し、お客さまに寄り添いながら課題を解決・サポートします。

RMGT-CSPIの詳細については、こちらをご覧ください。  
<https://www.ryobi-group.co.jp/graphic/cspi/>



## SCシリーズ断裁機 登場。

効率と安全性能が更に進化。ナイフと  
バックゲージの速度が向上し、クラン  
プ上昇安全機能を搭載。AIとの連携  
(オプション)も可能です。※eRCシリーズ断裁機との比較。写真はオプション仕様。

**SC**  
100Z 115Z  
137Z  
**SERIES** SCシリーズ断裁機

Safety Speedy Smart



最大断裁幅 1030mm  
**SC-100Z**



最大断裁幅 1370mm  
**SC-137Z**



最大断裁幅 1168mm  
**SC-115Z**

**ITOTEC**  
イトテック株式会社

製品や機能の詳細など、お気軽にお問い合わせください。

<https://www.itotec.co.jp>  
e-mail [info@itotec.co.jp](mailto:info@itotec.co.jp)



本社 〒484-0912 愛知県犬山市舟田10-4 TEL 0568-67-5311 FAX 0568-68-0495  
[支店、営業所、サービスセンター] 東京・大阪・四国・福岡・札幌・新潟・仙台

## 巻頭言

# 「毎日が異常なら、それは日常」

教育委員長 松本高武

教育委員会:松本です。この原稿を書いているのは、東海地方に梅雨明け宣言が出された翌日になります。今年の梅雨明けは、例年より15日早く、史上3番目タイの早さだそうです。梅雨明けと言われても、カンカン照りで35度を超える猛暑日が続き、梅雨の実感は全くないまま梅雨明けを迎えました。しかし、一方では雹が降ったり、災害級の大雨に見舞われる地域もあり、ニュースで流されるその映像を見て驚くばかりです。天候だけでなく、トカラ列島では、群発地震が長期化する中、震度6の地震まで発生し、島民が避難を始めたそうです。

世界中を騒がすまでに拡散された「7月5日」の大災害ですが、ここ最近の状況からも何らかの関連性を見出して信じてしまう人が出てきてしまうのも無理は無いのかもしれませんが。

挨拶代わりに「今年の天気は異常だね」のような会話を、実際は毎年繰り返す言い続けており、もはや異常が異常で無くなってきつつあるように感じます。しかも、異常が日常になりつつあるのは、天候や自然現象に限った話ではなく、我々の社会も同じで、戦争、紛争、事件、事故、ゴシップの類いから、SNSを通じたコミュニケーションといったことも含め、事象によっては驚愕したり、震撼したり、呆れ果てたりと様々ではありますが、自分がこれまで“あたりまえ”と思っていたことが全く当て嵌まらなくなっています。

コロナ禍においては、いつ終わるともわからない先行きの不安がありました。今にしてみれば、不安要

素は“それだけ”だったとさえ思えます。先の見通しが利かないのは、相変わらずですが、今やいつ何が起こるかわからない状況です。

ただでさえ、目の前の需要減少や採用難だけでも頭を悩ませているのに、デジタルだ、エコだ、コンプライアンスだ、ハラスメントだ、値上げだ、関税だ…とあらゆる方向から課題が湧いてきて、何がどうなるのか、何をどうするのかは混迷を極めていきます。

しかし、考えがとっちらかってしまうのは、従来の延長で考える癖が付いてしまい、新しいことについて行けなくなっており、そもそも「何が起こるか分からない」という考え方自体が、何か起きてから対処するという待ちの姿勢の表れなのかもしれないと思ったりもします。

環境の変化への対応を旧来のやり方に合わせようとするのではなく、かと言って必要以上に変化を求めて振り回されることもなく、柔軟に進むべき道は自ら切り開いていかねばならないと想いを新たにしています。

件の7月5日は平穩に過ぎましたが、時を同じくして当日は、オフセット印刷技能検定実技試験の2日目でした。受験された方にとっては、違った想いで、この日を過ごされたものと思います。教育委員会としての事業においても、従来の延長ではなく、刻一刻と変わる環境を見据え、地に足の付いた展開をしてまいりたいと思います。

 **KONICA MINOLTA**

Giving Shape to Ideas

お客様の可能性を引き出す印刷現場での働き方改革をご提案します。

	専任者不要 「スマートに働く」 スキルレスオペレーション
	作業の効率化 「無駄のない」 シンプルな印刷プロセス
	受注体制の拡充 「アイデアの具現化」 高品質を生むテクノロジー



**AccurioPress**  
C4080/C4070

※写真はC4080にオプションを装着したものです。

**コニカミノーラ ジャパン株式会社**  
プロフェッショナルプリント事業部 西日本営業統括部 営業4部

〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄2-9-15  
三井住友海上しらかわビル11F TEL.052-229-4624

共に印刷の未来を創る  
**つながるプリントラボ**  
<https://www.konicaminolta.jp/pr/printlab>



## ■全印工連／中部地区協上期会議

# 全日本印刷工業組合連合会 中部地区協上期会議(三重県会議)

## 令和7年度基本方針・事業計画発表 DXやAIの活用が今後の課題

四日市市の都ホテルで行なわれた  
中部地区協上期会議(三重県会議)



挨拶する大洞中部地区協会長

令和7年度中部地区印刷協議会(大洞正和会長・岐阜県印刷工業組合理事長、中部地区協)の上期会議(三重県会議)が、6月20日、三重県四日市市の都ホテル四日市で開催された。当日は全日本印刷工業組合連合会(全印工連)より橋本唱一副会長、酒井良輔副会長、木村崇義常務理事、高橋秀昭専務理事、そして、愛知・岐阜・三重・富山・石川の各県工組理事長と役員ら51名が出席した。全体会議前半では、全印工連令和7年度事業計画を発表、分科会では、5つの分科会と事務局会が開催された。全体会議後半では、理事長・委員長会と各分科会報告が行なわれた。司会進行は、河原善高専務局長(愛知県印刷工業組合専務理事)が努めた。

## 愛知・岐阜・三重・富山・石川5県から理事長・役員ら51名が出席

### ■全体会議前半

全体会議前半の冒頭、山口史高中部地区協副会長(三重県印刷工業組合理事長)が開催県を代表して、「前回の三重での開催は平成28年であったが、コロナウイルスの関係で1回休ませていただいた。私はこの地区協に参加して13年経つが、いつもここで有意義な情報を得ている。役立つ情報は会社に持ち帰り、日ごろの経営に活かしていただきたい」と歓迎の言葉を述べた。

続いて、大洞会長が挨拶に立ち、「昨日、一昨日と岐阜県も36、37度とかなり高い気温で、梅雨はどこに行ってしまったのか、という感じである。全印工連は10月に70周年記念事業がある。また、全国版のペーパーサミット開催の話もある。印刷業界は、数字を見るだけではあまり明るいニュースはないが、知恵を絞ってそれぞれが頑張り、共創することで印刷業界が盛り上がっていく。それを期待したい」と述べた。ついて「参考になれば」と前置きしDXの先進企業を紹介した。

「トライアルというスーパーがある。岐阜県には4店舗しかないが全国展開している。本社は福岡にある。現在、全国に343店舗あり、連結の売上が7,000億円をオーバーしてい

る。母体はIT企業である。経営の視点や営業戦略、マーケティングなどがほかのスーパーとは少し違うやり方をしている。いうなれば、IT企業ならではの進め方をしている。例えば、スマートショッピングカートを先行して導入しており、店内には100台以上のAIカメラが張り巡らされている。カメラが弁当売り場を監視し、売れ行きが悪ければ自動で値下げをする。カメラは、客がどこで立ち止まったか、どの商品に触ったかも記録する。また、商品の販売ペースから欠品を予測し、大型店に自動発注する機能も備わっている。同じ規模の店より人件費は25%削減したという。業界は違うけど、DXが本腰を入れて進められていると感じた」とし、「人材の確保が難しくなる中で、我々印刷業界もDXやAIを活用して省人化を図り、生産効率を高めていくことが重要な課題になる」と述べた。

次いで、橋本全印工連副会長が挨拶に立ち、全印工連の事業運営に触れながらDXやAIの実装支援に重点的に取り組むとした上で、「デジタル技術の活用を含め、有益な情報の発信に努めていく」とした。

総会事業では、大洞会長を議長に、中部地区協の令和6年度収支決算、令和7年度予算案が上程され、原案通り承認された。

その後、高橋専務理事から全印工連の事業概要が報告された。その中で、「官公需対策委員会内に今年度新たに発足させた官公需課題解決PT(プロジェクトチーム)で、著作権の適正な取り扱いなどを明記した印刷製本請負契約(約款)のひな型を今夏にも作成し、全国の自治体に活用を促したい」と説明。また、「総務省および経済産業省が7月上旬までに各自治体に対し、適切な予定価格の作成や知的財産権の配慮などを盛り込んだ通知文を出すのに合わせ、同様な内容の『官公需印刷物の入札・契約に関する要請書』を全印工連から発送する」と



山口三重県工組理事長



橋本全印工連副会長

## 全日本印刷工業組合連合会 令和7年度事業計画基本方針

日本の名目GDPも600兆円を超え、大手企業を中心に決算好調、設備投資の増加、賃上げの実施などデフレ社会からインフレ社会へと日本経済も新たな局面を迎えつつある。一方、印刷産業は原材料費の高騰、エネルギー価格の高止まり、労務費の上昇等に対し未だそれらを中々対価に反映できず、さらに印刷市場の縮小と社会のデジタル化による潮流によって苦境が続いている。

その様な経営環境において持続的収益を上げるには不毛な価格競争を止め、高くても求められる製品・サービスを提供する価値づくりの競争へと方向性を変える必要がある。また、中小企業を中心とする全印工連組合員は同質化競争を避け、それぞれの特徴を生かし協力して価値づくりを行なう価値協創を進め、共存共栄のための新たなエコシステムを構築することが重要である。

そのために2025年は以下の5つの柱を中心に様々な事業展開をしていく。

### ●一つ目が「価格の適正化」。

諸資材、エネルギー価格、労務費の上昇をしっかりと反映した価格での取引実現、そして不合理な取引慣行の改善である。これについては全日本印刷産業政治連盟、中小印刷産業振興議員連盟と連携して政府や各自自治体へ働き掛け、改善・是正を進める。特に官公需取引において多くの課題があり、こちらは官公需対策委員会を中心に課題解決に努める。

### ●二つ目が「人材育成と確保」。

既に人手不足が顕著になってきたが、この傾向はさらに強まっていくと考えられる。特定技能制度の確立、人材育成事業の推進、ダイバーシティ経営の推進事業を行ない、女性、高齢者、外国人など多くの方々が集まる印刷業界となれるよう対策を講じていく。また、自動化・省力化も必須であり、そのための情報提供も進める。

### ●三つ目が「紙の価値の啓発活動」。

デジタルか紙かの二元論ではなく、環境、教育や文化の発

展、販売促進など諸分野での紙の有効性を科学的な根拠に基づいて発信し社会に紙の価値を訴求していく。デジタルメディアも紙メディアも双方が連動し、現在以上に利用されることで、コミュニケーション総量が増加し、社会の活性化が図られることを目指す。こちらはプロジェクトチームを立ち上げ、製紙業界団体や関連団体とも連携して進めていく予定でいる。

●四つ目が「持続的成長のためのローカルゼブラ企業の研究と発信」。

社会課題解決と自社の利益獲得を両立させるゼブラ企業が世界的に増えている。成熟化社会を迎え地域の課題解決の需要はさらに増えていく。あらゆる産業と接点を持つ我々の業界こそがゼブラ企業にそして地域に根差し価値を創出するローカルゼブラ企業となり、共に成長を目指すべきと考えられる。この先進事例の収集と発信を行なっていく。

### ●最後が「AIの実装とDXの推進」。

AIが広く使われ出してきた。このテクノロジーを印刷業でどの様に活かすかを研究すると共に、それを多くの組合員が利用可能となるための研修プログラムを実施する。AIの実装については、研究会を立ち上げ興味のある多くの方々に参加していただき、共に学び研鑽していきたくと考えている。

また、Adobeライセンスプログラムの推進や情報共有と販売促進に役立つ新たなプラットフォームの構築、DX-PLATの改善、MTS・BRAINの普及にも努めていく。

今年度は全印工連創立70周年になる。10月には周年式典を行なう予定でいる。過去を振り返り未来を描く有意義な式典にしたいと考えているので、多くの組合員の皆様の参加とご協力をお願い致したい。

トランプ政権の政策により経済の見通しの不確定さが増し、また国内では災害も懸念される。新たな技術も拡がり社会を変えようとしており、このような不確実な時代だからこそ知恵と力を結集し打開策を創る組合が必要であると確信している。立場の弱い中小企業には尚更重要となる。2025年度(令和7年度)も皆様と共に価値協創を進めピンチをチャンスに変えて行きましょう。

## 価値協創実現への事業実装 ～『Happy Industry 人々の暮らしを彩り 幸せを創る印刷産業』を目指して～

した上で、「自治体の理解をより深めるため、各工組で要請書を地元自治体に持参していただきたい」と呼び掛けた。

引き続き、橋本副会長より全印工連令和7年度事業計画の説明が行なわれた(全印工連「基本方針」は別項参照)。

この後、分科会に入り、経営革新・マーケティング分科会、サステナビリティ・CSR分科会、組織・共済分科会、教育研修分科会、取引公正化分科会の5つの分科会と理事長会、事務局会が行なわれた。

### ■全体会議後半

全体会議後半では、最初に分科会、理事長会、事務局会の報告が行なわれた(報告者は次の通り/敬称略)。

●経営革新・マーケティング委員会/ 筧田公生委員長(富山県工組副理事長)

●サステナビリティ・CSR委員会/ 土井弘人委員長(三重県工組副理事長)

●組織・共済委員会/ 北川毅委員長(愛知県工組理事)

- 教育研修委員会／中島弘稀副委員長(岐阜県工組副理事長)
- 取引公正化委員会／田中逸郎委員長(石川県工組副理事長)
- 理事長会／須垣貴雄富山県工組理事長
- 事務局会／加藤清志富山県工組事務局長

分科会報告に続いて活動報告が行なわれた。

「全国青年印刷人協議会」(全青協)の活動報告を、中部ブロック担当の四ツ橋憲彦副議長(岐阜県工組事業委員長)が行なった。毎年開催する全青協ブロック協議会の運営方法を変更し、全国9つの地域で開催していたのを東京・大阪・福岡の3か所に集約、9月から11月にかけて行なうとした。その理由について、「より広範囲なメンバーと触れ合うことができ、更なる刺激がある」からと説明。

次いで、「全印工連ペーパーサミットジャパン」(仮称)の報告を高田華子中部ブロック担当(岐阜県工組常務理事)が行ない、「有識者らによるトークイベント、クリエイターと印刷会社との共同商材開発及び成果品販売、印刷主体のワークショップなどを実施予定であるとし、「関係者の意見を聞きながらより良い形を目指して行く。是非、皆さんの知恵をお借りしたい」と協力を要請した。

また、「全印工連産業デザイン室」の活動状況について、産業デザイン室竹倉幹雄委員(愛知県工組副理事長)が報告を行なった。活動内容の中で、「公共調達の調査・提言の一環として、地域の課題を行政と民間企業で協力して解決する公民連携の進め方をまとめた手引書を11月に発行する」との報告があった。

質疑応答、意見交換が行なわれた後、箕浦靖夫副会長(愛知県工組副理事長)の閉会の辞で中部地区協上期会議・三重県会議が終了し交流会に移った。

## ■交流会

引き続き交流会が行なわれ、阿竹一仁三重県工組副理事長が司会を務め、大洞会長の挨拶に続き酒井全印工連副会長が乾杯の音頭を取り、懇親と情報交換のひとときがスタートした。宴半ばで小杉善文石川県工組理事長の中締めで終了した。



親睦と情報交換を図る交流会

## 中部地区印刷協議会 分科会報告

### ■経営革新・マーケティング委員会

寛田公生委員長(富山県工組副理事長)

今年度は価値創出支援事業、経営基盤強化支援事業、オープンイノベーションの3本柱で事業を行なっていく。価値創出支援事業では、今回初めてAI研究会PTを公募した。6月の始めて45社が応募しており、各地区協が終わるとメンバーが増えると期待される。内容としては、外部講師を招いてセミナー、最先端のAI活用の事例の紹介やメンバー間でのディスカッションを実施する。経営者、後継者、経営幹部が対象で、第1回目の外部講師は、マイクロソフトの執行役員の方である。経営基盤強化支援事業では、8月にセミナーを実施する予定である。新勝ち残り合宿ゼミは、例年は2月、3月に実施されているが、今回は全青協との共同開催となり、予定では12月12日、13日に開催する。募集は30名から40名。企業における幹部、次期経営者が対象となっている。

10月からアドビの特別ライセンスプログラムが新しくスタートするが、その費用が非常に高くなると聞いている。その費用を分割できないかという要望がある。

### ■サステナビリティ・CSR委員会

土井弘人委員長(三重県工組副理事長)

職場における労働衛生基準が変わったので注意が必要。熱中症対策としてドリンクや飴などを会社に設置して熱中症予防を図って欲しい。委員会での議論の中で、石川県工組のCSR活動で小杉善文理事長の会社(株)金沢シール)を見学した。同社は、2022年に「日本経営品質賞奨励賞」を受賞、また、21年から4年連続で「健康経営優良法人ブライト500」の認定を受けている。見学会では、従業員の働く意欲を引き出すために、ボトムアップ的に従業員の意見を汲み取る組織体制などについて小杉社長の話を聞いた。また、WEBでも閲覧できるので見ていただきたい。

MUD(メディア・ユニバーサルデザイン)では、クライアントもセミナーに呼んで理解を得るといった意見があった。啓蒙活動は大変大事であるので、是非とも行なっていただきたいということである。

CSRでは、会社で障がい者雇用をしているとCSR活動に繋がる。CSRのチェックシートを一度確認して、CSRの認定制度にどれぐらいマッチしているか行なってみるのも良いという話があった。

### ■組織・活性化委員会

北川毅委員長(愛知県工組理事)

組合員の加入促進について、現状を踏まえて加入促進にどのような取り組みをしているか議論した。今年から特定技能制度の利用のため、組合に加入する企業も増えている。その部分も含めて確認したところ、岐阜では2増2減、さらに2社くらいの増減があるとの報告を受けている。また、石川でも



寛田公生委員長



土井弘人委員長



北川毅委員長



中島弘稀副委員長



田中逸郎委員長

今1増4減であるが、2増の予定との報告がある。すでに特定技能が絡んできており、特定技能に係ってくるような印刷会社、製本会社の現状を含めて再確認が必要である。岐阜県工組では、加盟していない印刷会社にダイレクトメールを60件ぐらいに発送、そのうちの4～6件から良い反応が得られたという。増強を図る一つの手段として、各県工組のノウハウを共有しながら、DMを発信するのも考えられる。

組合に加入するための条件が各県工組でバラバラなのが指摘され、可能であれば全印工連で全国の工組の加入資格を資料として出してもらい、各県工組の会員資格はどういう状況であるのか、実情を把握した上で増強のための方策を検討していきたいとの話がある。

全印工連から新しい共済制度を設けたいとの通達がきており、サイバーリスクの保険も作っていききたいとの話もあるので、是非、作っていただきたい。

### ■教育研修委員会

中島弘稀副委員長(岐阜県工組副理事長)

技能検定プリプレス職種(DTP)作業は、中部5県全てに受検者がいるので今後も開催し増やしていきたい。印刷営業講座・印刷営業士認定試験については、今年度愛知県工組で実施する。講座はオンラインでの受講が可能であるが、試験は対面形式になる。試験もオンラインで受けられるようになれば、地元開催がない受験者にとっては朗報かと思う。また、印刷営業士の試験は、すでに営業士の資格を持っている人でも、講座だけ受講するのでもできるので、より多くの人に参加していただきたい。愛知県工組では、各地からの参加を呼び掛けている。

教育動画サイト「印カレ」は、余り視聴率が伸びていないということで、視聴者数を増やすためにも、ブラウザだけでなく、スマホのアプリから手軽に閲覧できないかとの意見もあることから工夫も必要になる。



須垣貴雄理事長



加藤清志富山県工組事務局長

### ■取引公生化委員会

田中逸郎委員長(石川県工組副理事長)

全国官公需対策委員会の開催は、全印工連の70周年記念事業の前日、10月9日に行なう。全国委員会では、全国の官公需に対する成功事例や貴重な話が聞ける機会になっているので一人でも多くの参加をお願いしたい。

昨年4月、海上保安庁が生成AIで作成したリーフレット内のイラストが著作権侵害に当たるとの批判を受け、リーフレットの配布が中止された。印刷物のメインビジュアルに生成AIを使うのはリスクを伴うので、今後の官公需対策を考える上でも、行政側が生成AIと著作権についてどのように考えているのか把握することも必要である。県の発注担当者との協議の場などで、聞き取り調査を進めていきたい。

### ■理事会

須垣貴雄理事長(富山県工組)

ペーパーサミットが話題になった。これは大阪工組で実施した紙の価値を再認識するためのイベントになる。全印工連ではこの全国版「ペーパーサミットジャパン(仮称)」を、来年の7月24日から26日東京・浜松町で開催する。クリエイターと印刷会社との商材の共同開発や開発した商材の販売も行なう予定でいる。多くの組合員の参加を期待したい。

「BRAIN」は、印刷業向け基幹業務システムである。小規模事業所が一からシステムを構築して見えるかを進めるのに有利なツールになる。岐阜県工組ではセミナーを開催して、このBRAINを活用するためにどのようなメリットがあるのか勉強会を行なっている。他の工組でもこうしたセミナーを開催し、利用啓発に努めていただきたい。

### ■事務局会

加藤清志富山県工組事務局長

通常総会までのタイムスケジュールを再確認した。各県工組では通常総会に至るまでのタイムスケジュール、議案書作成に係る役割などについては若干の違いがあった。事務局としては議案書作成までの作業について、役員、委員長には理解をいただきスムーズな議案書作成に協力をお願いしたい。事務局からの要望は、各県工組毎に使える事務局専用クラウドを全印工連で用意できないか、ということである。

組合員が減少して、各県工組は財務的にも厳しい状況が続いている中、事務局としては業務の効率化を図り、それに見合うコスト削減を進めていかなければならないが、こうした業務の効率化の内容についても本部からの支援が欲しい。

# 「印刷営業士」資格取得

## ■印刷営業講座(営業社員向け研修)

## ■印刷営業技能審査認定試験(「印刷営業士」資格取得試験)

全日本印刷工業組合連合会(全印工連)が主催し各県の印刷工業組合が実施する営業社員向け研修講座「印刷営業講座」が開講される。この講座は、「印刷営業士」資格取得試験「印刷営業技能審査認定試験」(通称「印刷営業士認定試験」)事前講習的な位置付けになっている。カリキュラムは、印刷営業活動の基本及び企画・マーケティング、見積りりの基本、セールス&プロデュース、さらに、印刷・印刷関連技術の基礎知識、印刷とデジタルメディアの融合など、幅広く学ぶことができ

### 印刷営業講座／印刷営業技能審査実務試験

受験資格は印刷実務経験1年以上

「印刷営業講座」(営業社員向け研修)の受講資格は、印刷営業実務経験1年以上が必要となる。また、印刷営業士の資格が取得できる「印刷営業技能審査認定試験」(「印刷営業士」資格取得試験)においても営業講座と同様に実務経験1年以上が必要になる。

ちなみに、国が行なっている国家検定「技能検定」は、検定に合格すれば「技能士」の資格が得られる。現在、130以上の職種で実施されており、印刷職種では、製版(プリプレス作業)、製本(製本作業)、印刷(オフセット印刷作業)があり、春に行なわれる前期と秋に行なわれる後期とに分かれ、前期には印刷、後期には製版、製本が組まれている。技能検定は、特急、1級、2級、3級などの区分があり、受験資格は原則として、それぞれ検定職種に関する実務経験が必要になる。いずれにしても技能検定は、印刷・製版・製本各オペレーターが取得を目指す「最高の技能の証」となるだけに、毎年多くの人が挑戦している。

このように、技術面での「技能士」、営業面での「営業士」の両輪が企業内にいれば、社内におけるモチベーションの向上、社外における企業のプラス評価に繋がるだけに、企業にとっては「大きな財産」である。

### 【印刷営業講座及び印刷営業技能審査認定試験の概要】

受験資格は、印刷営業講座、印刷営業技能審査認定試験ともに各県印刷工業組合の組合員のみならず、一般(関連業界)からの受講も受け付けているので、誰でもチャレンジすることができる。ただし、前記したごとく「印刷営業実務経験1年以上」が必要になる。また、印刷営業技能審査認定試験では、実務経験1年以上に加え「企業主がその経験年数を認める者」となっている(印刷営業講座の受講有無には関係ない)。試験の免除に関しては「知識試験又は技能試験のいずれか合格し

る。講座は、カリキュラムの内容が豊富なことから、印刷営業士の資格取得試験を受験しない人でも、自身のレベルアップを図るのに最適な研修として参加するケースもあり、特に、組合に加入していない人にも門戸を広げていることから、組合員以外の製版・製本といった印刷関連業界から挑戦する人も多く見かけられる。愛知県印刷工業組合が実施する「印刷営業講座」と全印工連の「印刷営業技能審査認定制度」について紹介する。

ている試験についての受験は免除される、としている。

印刷営業講座を担当する講師には宮本泰夫氏が務め、「印刷メディア」、「印刷関連技術の基礎知識」、「営業活動の基本」、「コンプライアンス」、「セールス&プロデュース」などを講義する。また、「見積積算の概要」、「見積計算演習」については高見隆登氏が担当する。

### 【印刷営業講座日程】

- 主催:全日本印刷工業組合連合会。
- 実施:愛知県印刷工業組合。
- 日時:令和7年10月3日(金)13時00分～18時00分／10月4日(土)9時30分～16時30分／10月10日(金)13時00分から18時00分／10月11日(土)10時30分～16時30分。
- カリキュラム:別項参照。
- 会場:メディアージュ愛知3階会議室(愛知県印刷工業組合／名古屋市東区泉1-20-12 TEL052-962-5771)。  
※メディアージュ愛知には、駐車場の完備がないため公共交通機関(名古屋市営地下鉄鶴舞線「高岳」駅が便利)の利用か車の場合は近くの有料駐車場を利用する。
- 受講料(税込):各県工組の組合員1人20,900円、一般1人38,500円。
- 講師:宮本泰夫氏(株)バリューマシンインターナショナル)、高見隆登氏(一般社団法人経済調査会)。

### 【印刷営業技能審査認定試験】

- 主催:全日本印刷工業組合連合会
- 実施:愛知県印刷工業組合
- 日時:令和7年10月25日(土)、9時30分までに集合、注意事項／学科試験:9時45分～10時45分(60分)、休憩／見積等技能試験:11時00分～12時30分(90分)。
- 会場:メディアージュ愛知3階会議室(愛知県印刷工業組合／名古屋市東区泉1-20-12 TEL052-962-5771)。

## 「印刷営業技能審査認定制度」 全国で13,000人以上の「印刷営業士」が活躍

全日本印刷工業組合連合会（全印工連）では、厚生労働大臣認定の「印刷営業技能審査（認定試験）」を行っており、合格者に印刷営業士の称号を与えており、開始以来、全国で13,000以上の方が印刷営業士の称号を受け活躍している。

### 印刷営業技能審査試験の概要

#### （1）認定試験の実施主体

当試験は全日本印刷工業組合連合会と都道府県印刷工業組合が主体となり実施される。

#### （2）試験の水準

試験の水準は、「印刷営業に関する知識と技能について通常有していなければならない能力の程度」で、これがベースになって問題が作成される。この制度は、国が行なう技能検定を補完する性格を併せ持っているが、国の技能検定に置き換えると2級相当ということになる。

#### （3）受験資格

印刷営業担当者としての経験年数が1年以上で、受験申請に際しては企業主の証明が必要。

#### （4）受験手続

印刷工業組合が公示する日程に従って、所定の受付期間内に同工業組合へ申し込む。

#### （5）試験の内容

##### ①知識試験（学科試験に相当）

真偽法問題が30題（1問1点）、多肢択一法問題が30題（1問1点）、記述式問題が20題（1問2点）の計80問（100点満点）が出題され、試験時間は1時間。合否は、正答点数を得点とし66点以上が合格となる。

※真偽法問題とは、問題文が正しいか誤っているかを判断する問題。多肢択一問題とは、問題文の答えを4つの選択肢の中から選ぶ問題。記述式問題とは、空白に当てはまる語句を記述する問題。

#### ②技能試験（実技試験に相当）

提案型営業課題に関する論述式問題が5問（50点）、積算見積に関する穴埋め式問題が25問（1問2点）の計30問（100点満点）が出題され、試験時間は1時間30分。

※提案型営業課題に関する論述式問題とは、逐語記録をもとに問に対応し、回答を記述する問題。合否は正答点数を得点とし60点以上が合格となる。

※知識または技能試験のいずれか一方が不合格になったときは、それ以降の受験の機会に不合格となった試験を再受験することができる。

#### （6）合格証

この知識試験、技能試験の両方に合格すると合格証が授与され、印刷営業士を称することができる。

#### （7）試験の免除

知識試験または技能試験のいずれかが合格となっている者が再受験するときは、その合格となっている試験の受験が免除される。

#### （8）受験料（税込み）

受験料は次の通り（受験申し込みと同時に納入）。

知識試験4,000円（消費税400円）計4,400円

技能試験8,000円（消費税800円）計8,800円

#### （9）当日持参するもの

①受験票、②印刷物積算見積用料金例（経済調査会発行「積算資料 印刷料金」）、③鉛筆、消しゴムなどの筆記用具、④電卓（技能試験「積算見積」で使用）。

※「印刷営業技能審査認定制度」の案内は、先月号に「あいちの印刷」と共にお送りしていますのでご確認ください。また、案内は、全印工連ホームページから検索することができます。

●受講料（税込）：組合員・一般共通1人13,200円（知識試験4,400円、技能試験8,800円）。

※メディアージュ愛知には、駐車場の完備がないため公共交通機関（名古屋市営地下鉄鶴舞線「高岳」駅が便利）の利用が車の場合は近くの有料駐車場を利用する。

### 【その他の周知事項】

「印刷営業講座」受講と「印刷営業技能審査認定試験」の受講・受験の申し込みは、「申込書」に必要事項を記入し愛印工組にFAXで申し込む。

※「申込書」は愛印工組ホームページから。

※「印刷営業技能審査認定試験」の受験にあたっては、別途「受験申請書」の提出が必要。この申請書は、「印刷営業講座」の初日（10月3日）に配布されるので、3日目（10月10日）に提出するスケジュールになっている（講座の受講をされない人には郵送される）。

※申請書に顔写真（横4cm×縦5cm）の添付が必要となるの

で事前に用意する。

### 【助成金】

「印刷営業講座」は、「人材開発支援助成金」の中の「人材育成支援コース」が対象になっており、人材開発に取り組む事業主への助成がある。この人材開発支援助成金は、令和7年4月1日から助成額の拡充と申請手続きの見直しが行なわれており利用がしやすくなっている。

詳細は、各都道府県労働局の助成金窓口まで。

※助成金受給のためには、企業所在地の所轄の労働局へ、印刷営業講座開始日（令和7年10月3日）の1か月前までに実施計画届などの書類一式の提出と、講座終了後に受給申請書類（報告書など）一式の提出が必要になる。

### 【営業講座・認定試験など詳細】

愛知県印刷工業組合：〒461-0001名古屋市東区泉1-20-12 TEL052-963-5771 FAX052-951-0569

<http://www.ai-in-ko.or.jp/>

# 令和7年度「印刷営業講座」日程とカリキュラム

主催：全日本印刷工業組合連合会

実施：愛知県印刷工業組合／会場：メディアージュ愛知

開催日時	時間	カリキュラム項目	カリキュラム内容	講師
令和7年10月3日(金) 13時00分～18時00分	2時間	1. オリエンテーション・メディアリアリテラシー (13時00分～15時00分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>印刷メディアの発展と成熟化</li> <li>工業出荷額推移/事業所数推移から見る事業規模変化</li> <li>デジタル化の流れ (小ロット・多品種・個別化)</li> </ul>	宮本 泰夫 氏  (株)バリュエーション インターナショナル
		(1)メディアの変化と産業の変容	<ul style="list-style-type: none"> <li>ペーパーメディアにおけるコンテンツ作成の特徴</li> <li>商印/出版/証券/事務/包材/建築材</li> <li>オンラインメディアのコンテンツ作成の特徴</li> <li>インターネット/メール/Web (検索・ポータル・LP)</li> </ul>	
		(2)メディアとコンテンツ作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>インターネットを活用した新ビジネス・新サービス</li> <li>印刷通販/オンデマンド出版</li> <li>オンライン/オフラインの融合</li> <li>オフラインtoオンライン (各種コード/ARなど)</li> </ul>	
		(3)印刷とデジタルメディアの融合	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種用語とモの解説</li> <li>クロスメディア 他</li> </ul>	
1時間	1時間	2. 印刷関連技術の基礎知識 (15時00分～16時00分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>印刷技術の種類と分類</li> <li>コンベンショナル印刷技術の基礎と特徴</li> <li>オフセット/グラビア/フレキ/スクリーン</li> <li>デジタル印刷技術の基礎と特徴</li> <li>トナー (乾式・液体) / インクジェット/Landaなど</li> <li>ワーケーションシステム</li> <li>各種自動化と見える化 (MIS/JDF/JMF)</li> <li>カラーマネジメントと校正出力の変化</li> <li>網点校正→インクジェット/オンライン校正</li> <li>自動化・効율化技術</li> <li>JDF/JMFとオンラインシステムの普及</li> <li>特殊加工技術</li> <li>フオイル加工/厚盛加工/バックージ処理</li> <li>色材技術</li> <li>インク (油性/水性/UV/Latex 他)</li> <li>媒体技術</li> </ul>	
		(1)印刷技術の変遷と印刷の種類・特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>小ロット化 (面付・プレート技術・自動版交換・UV印刷)</li> </ul>	
		(2)リプレス技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>オンラインツールによる効率化とネットワーク化</li> </ul>	
		(3)ポストプレス技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンビネーションプレス技術 (ラベル 他)</li> </ul>	
		(4)材料技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>特殊色材 (蛍光/MICR/セキュリティインクなど)</li> </ul>	
0.5時間	0.5時間	3. 営業活動の基本 (16時00分～16時30分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種デジタル印刷事例</li> <li>経営理念と企業の強み・弱みの理解の重要性</li> <li>PL/BSの理解</li> <li>原価管理の重要性/売上管理と利益管理</li> <li>営業方針 (営業戦略・顧客戦略)</li> <li>既存顧客の育成方針など</li> </ul>	
		(1)経営方針・経営計画の理解		
		(2)売上高から経常利益までのフロー		
		(3)営業方針・営業計画の理解		
		4. コンプライアンス (16時30分～18時00分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種情報管理のあり方の理解</li> <li>Pマーク/ISMS (ISO27001)</li> <li>商取引/契約の形態の理解</li> <li>品質管理・製造者責任への取り組み (ISO9001・PL法など)</li> <li>環境対応への取り組み (各種環境対応認証・マークの付与など)</li> </ul>	
1.5時間	1.5時間	(1)情報の適切な管理と処理 (企業情報、個人情報)	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報漏えいによるトラブルと企業に対するダメージ事例</li> </ul>	
		(2)営業活動とルール (契約、印紙、商法、下請け法、第三者認証、社内規定等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>著作権/知財権などの権利関係の理解</li> <li>安全衛生への取り組み (ISO14001)</li> </ul>	
		(3)安心と安全 (安全衛生、PL法、公書等…)		

開催日時	時間	カリキュラム項目	カリキュラム内容	講師
令和7年10月4日(土) 9時30分～16時30分	6時間	5. セールス&プロデュース (9時30分～16時30分)うち休憩60分  (1)セールス&プロデュースの考え方  (2)マーケット情報の収集と分析  (3)企画・マーケティングの知識  (4)仮説立案とヒアリング  (5)企画構成とプレゼンテーション  (6)顧客情報管理と共有  (7)企画から納品までのマネジメント  (8)セールス&プロデュースに関する用語解説	カリキュラム内容 ●印刷会社と印刷物の役割 ●顧客が求める印刷会社の姿とは ●基本的な顧客提案のあり方と考え方 ●発注生産であるからこそ必要な提案プロセス ●情報の収集と分析 ・マーケット情報の収集と理解の重要性(向のために・何に利用) ・個別顧客の情報収集と理解の重要性(どのような情報) ・分析に必要な定量情報(市場規模・企業会計報告など) ●企画・マーケティングの必要性 ・顧客営業面と自社戦略面の双方についての必要性 ●マーケティング手法の理解 ・市場分析(4P分析/AC分析)と視点の移行 ・製品分析(PPM/ライフサイクル) ・顧客分析とセグメンテーション(RFM/STP) ●企画提案の具体的な流れを理解する ・提案とは何か/顧客視点のあり方 ●仮説立案プロセス ・市場/顧客情報から課題を見出す(仮説) ●ヒアリングプロセス ・顧客課題と本質の理解(顕在課題と潜在課題) ●分析作業(WHY・HOWツリー)から導く企画提案内容 ・実施優先度/各種制約事項と代替案の作成 ●企画提案のために考えておくこと ・課題の本質と提案が解決すべき本質 ・内部要因/外部要因 ・過去の取り組みと目標設定 ・パートナー戦略 ●プレゼンテーション ・資料作成が目的ではない ●顧客情報管理 ・インナーマーケティングの重要性を理解する ●組織として取り組むマーケティングのあり方 ●スケジュール作成 ●顧客コミュニケーション計画 ・アフターフォローの重要性と物品後のアクション ●各種用語の解説	宮本 泰夫 氏  (株)バリューマシオン インターナショナル
令和7年10月10日(金) 13時～18時	5時間	6. 見積り概説・見積り計算演習 (13時00分～18時00分)  (1)見積りの基礎知識  (2)オフセット印刷の見積り計算  (3)デジタル印刷の見積り計算  (4)見積書の活用方法	●見積りの目的 ・立場による目的の違い ●見積りと原価の関係 ・原価構成の基礎知識 ●見積りに必要な情報 ・仕様・価格の整理 ●見積項目と計算手順 ・デザイン ・ブリプレス(DTP・校正・刷版) ・プレス(印刷) ・ポストプレス(製本加工) ・用紙・諸経費 ●計算練習 ●見積項目と計算手順 ・ブリプレス(出前準備) ・プレス(出力) ・ポストプレス(製本加工) ・用紙・諸経費 ●見積書で伝えられること ・信頼性・論理性 ・自社技術・創意工夫 ・見積り条件と修正への対応 ●付加価値をどのように表現するか ・付加価値とは ・印刷付帯サービスの扱い	高見 隆登 氏  (一社)経済調査会
令和7年10月11日(土) 10時30分～16時30分 (うち休憩60分)	5時間	7. グループワーク (10時30分～16時30分)うち休憩60分  セールス&プロデュースで学んだ項目の実践	●セールス&プロデュースで学んだ項目を実践的体験をする。 ●3～5人、1チームで案件の検討、まとめ、発表する。 ●チームごとに発表、質疑応答をする(印刷会社と得意先を想定) = 提案準備プロセス⇒提案企画⇒プレゼン ●提案に必要な準備プロセスを体験しその意味を知る。 ●参加者各社について身近になるテーマを設定する。(各社個別の内容にすることも可能) ●最終的に講師の総評を行う。	宮本 泰夫 氏  (株)バリューマシオン インターナショナル

## ■「Resilience Award (レジリエンス・アワード)」

### 新しい事業に取り組み、変革に挑戦する組合員を募集

組合創立70周年のテーマ「レジリエンス～共に歩み、未来を拓く～」にふさわしい企業を表彰します。

※「レジリエンス」は、回復する力、復元する力と訳される言葉です。

#### (1)趣旨

愛知県印刷工業組合は、本年、創立70周年を迎えました。

長きにわたり、印刷業界は情報産業の一翼を担い、地域社会や経済に大きく貢献してきました。デジタル化や社会構造の変化が進行中、私たちの事業領域も「業態変革」や「ソリューションプロバイダー」への進化を通じて、新たな形に変わりつつあります。特にコロナ禍を経て、社会の価値観や行動様式が大きく変容した今、未来を見据えて自らの事業をどう再構築していくかが、かつてないほど問われています。

そのような中で、変化の本質を見極め、新たなチャレンジを実践し、成果へとつなげている企業の姿は、業界全体にとって大きな希望であり、刺激となります。そこで愛印工組では創立70周年の節目の年に、未来に向けて果敢にチャレンジし、経営革新・価値創造を実現している企業を「レジリエンス・アワード」として表彰することといたしました。

受賞企業の取り組みは、他の組合員各社にとっても、未来を切り拓く勇気となるはずです。各支部におかれましては、地域の中で光る企業の取り組みをぜひご推薦ください。一つひとつの挑戦が、私たち全体の力になります。

#### (2)受賞候補者の募集

- 受賞候補者は、支部からの推薦とします。
- 一支部からの推薦社数の制限はありません。
- 下記「4推薦要領」により9月30日(火)までに組合事務局へメールでご提出ください。

#### (3)審査及び表彰

- 支部から推薦のあった企業は、原則として「レジリエンス賞」の授与を前提とします。
- 上記の企業のうち1社を10月の三役会で「レジリエンス大賞」として選定します。
- 表彰は、令和8年1月14日(木)組合創立70周年記念祝賀会で行います。

- 授与者 全印工連会長・愛印工組理事長(予定)連名

#### (4)推薦要領

推薦理由書に次の事項をご記入ください。様式は任意です。

- ①文部名、②被推薦企業名及び代表者名、③推薦理由  
新たな取り組み、変革への挑戦、事業環境の変化への対応、取り組みの成果など、800字以内でご記入ください。

#### (5)提出先

愛知県印刷工業組合事務局 E-mail jimmu-01@ai-in-ko.or.jp  
TEL052-962-5771 FAX052-951-0569

令和7年7月7日

愛知県印刷工業組合 組合創立70周年記念事業実行委員会  
実行委員長 酒井良輔 担当副理事長 竹倉幹雄

## ■愛印工組・7月期理事会

### 組合創立70周年記念

#### 「Resilience Award」企業募集

愛知県印刷工業組合(愛印工組)の令和7年度7月期理事会が、7月7日15時よりメディアージュ愛知3階会議室において開催された。理事会では、組合員の加入・脱退報告、理事定数改正、役員推薦会議の委員選任、各委員会実施事業、中部地区協報告などが行なわれた。また、組合創立70周年記念におい



7月理事会

で「Resilience Award(レジリエンス・アワード)」を設け、新しい事業に取り組み、変革に挑戦する組合員を募集する募集要項などの詳細が発表された(出席者20名)。

理事会は、河原善高専務理事の司会進行で進められ、冒頭挨拶に立った酒井理事長は、次のように述べた。

「5月30日の九州での地区協議会を皮切りに、全国で地区協議会が開催された。先週の関東地区協議会が最後で、中部地区協議会は6月20日に三重印工の担当で開催された。今年は多くの組合が70周年の年を迎える。全印工連も10月10日に盛大な式典行なう。式典は、皇居前の東京会館で開催されるが、全印工連から参加要請が来ているので、愛印工組からも多くの皆さんの参加をお願いしたい。

また、愛印工組においても創立70周年を迎える。来年1月14日開催の新年互礼会の席で70周年記念を併催して行なう。70周年の記念テーマを「Resilience(レジリエンス)」としており、席上、このテーマにふさわしい企業を表彰すべく『Resilience Award』を設け、新しい事業に取り組み、変革に挑戦する組合員を募集し『レジリエンス賞』を授与する。支部推薦による受賞候補者の募集を行なっているため、是非、チャレンジしていただきたい」と述べた。

次いで、河原専務理事から理事会の成立が報告され、酒井

理事長を議長に議案審議に入った。組合員の加入脱退では、加入が㈱サクラホールディングス、㈱山菊の2社が承認された。脱退は3社が報告された。

続いて、理事定数改正の件では、支部の理事規定人数(選出人数)が、支部員数10～25人→理事2人以降10人増える毎に1人増に改正された。役員推薦会議の委員選任の件では、前理事長の鳥原久資氏を委員長とする11名が選任された。

組合創立70周年記念事業については以下の報告がされた。

#### 【組合創立70周年事業】

- テーマ:Resilience ～ともに歩み、未来を拓く～
- 実施年度:令和7年度(令和7年4月10日で70周年)
- 開催日時:令和8年1月14日(水)

[15:00～16:30 記念講演会][17:00～19:30 記念祝賀会兼新年互礼会]

- 会場:名古屋東急ホテル

引き続き、各委員会活動の報告に移った。

三役直轄事業について、箕浦靖夫副理事長から親睦ゴルフコンペが9月10日、セントクリークゴルフクラブで開催。また、竹倉幹雄副理事長から組合創立70周年記念事業の詳細が報告された(別項参照)。

組織・共済委員会報告を北川毅委員長が行ない、共済制度加入促進活動について、愛印工組が「全印工連共済キャンペーン」の重点工組になっているので協力の要請があった。

労務・新人教育委員会は箕浦副理事長が行ない、実施済み事業と8月30日の断裁機取扱者の実技講習、11月1日永年勤続優良従業員表彰について詳報した。

CSR・ブランディング委員会を鈴木雄一委員長が行ない、8月21日環境推進工場登録制度認定更新講習会と8月28日JPPS認定更新講座、10月18、19日のワクワクぷりんと博覧会について報告がされた。

教育委員会事業を松本高武委員長が行ない実施済み事業と令和7年10月3日、4日、10日、11日の「印刷営業講座」、10月25日の印刷営業技能審査認定試験(「印刷営業士」資格取得試験)について報告(別項参照)。

経営革新員会の富田章裕委員長より、経営セミナー実施を検討中であるとの報告。

青年部・名古屋而立会事業について若園俊介担当理事より報告が行なわれた。

続いて、支部活動報告。全印政連への加入、中部地区印刷協議会上期会議(別項に詳報)の報告が行なわれた。

## ■お知らせ

### 「永年勤続優良従業員表彰」のご案内

- 同一事業所に10年・15年勤続の従業員
- 申し込み締め切り日 9月5日

今年度も「永年勤続優良従業員表彰」を実施します。該当者が在籍の事業所は、期日までに申し込みください。

#### 【実施要綱】

- 表彰日:令和7年11月1日(土)
- 表彰場所:各事業所
- 表彰の種類と被表彰者の資格

①全日本印刷工業組合連合会会長・愛知県印刷工業組合理事長表彰(10年以上勤続優良従業員):同一事業所に10年以上勤務し、事業主が優良と認めてこれを申請した者。

②愛知県知事表彰(15年以上勤続優良従業員):愛知県内の同一事業所に15年以上勤務し、この間優良従業員として前項(10年以上)の表彰を受けた者で、事業主が推薦状を提出し、県知事の審査に合格した者。

●県知事表彰については、愛知県内における勤続年数しか認められない●勤続年数の算出基準日は、令和7年11月1日とし1か月未満は切り捨てとする●いずれも過去に同一理由により表彰を受けた者を除く●現在、取締役以上の役員または後継者として将来取締役以上の役職が約束されている者は除かれる。

#### 【事業主の負担金】(税込み)

- ①会長及び理事長表彰(10年以上表彰)1人12,100円。
- ②県知事表彰(15年以上表彰者)1人14,300円。
- 表彰者には、賞状並びに記念品と祝菓子を贈呈。

#### 【申し込み方法】

①会長及び理事長表彰の申し込みは、申請書(会長及び理事長表彰申込書:FAX返信可)による。

②県知事表彰の申し込みは、申請書(知事表彰推薦書:郵送)による。

●①、②ともに、9月5日(金)までにそれぞれの負担金を納入のうえ申し込みください。なお、申請書は、組合ホームページからダウンロードできます。

#### 【問い合わせ・申し込み】

愛知県印刷工業組合(担当:勝野・河原)TEL052-962-5771、FAX052-951-0569 <https://www.ai-in-ko.or.jp/>

盛功社の創業は1889年。2023年に135周年を迎えました。  
3世紀にわたるご愛顧をいしずえとして  
新たな未来へ羽ばたきます。



- 印刷機械 ●製版機械 ●製本機械
- DTP関連機 ●印刷諸材料

株式会社 盛功社  
〒461-0014 名古屋市東区榑木町3丁目17番地  
TEL 052-932-5611 FAX 052-931-0280  
<http://seikosha-net.jp/>

## 高精細印刷とPUR製本の最強タッグ

データから印刷・製本・発送まで  
自社一貫体制でお引き受けします

大日印刷株式会社

☎0564-62-8461(代)  
FAX 0564-62-8463

大日印刷

検索



## 第62回光文堂新春機材展 「Print Doors 2026」出展社募集

### 印刷・情報産業の現在と未来を知る2日間

印刷機材の総合商社株光文堂が新春に開催する恒例の第62回光文堂新春機材展「Print Doors 2026」の出展申し込みが始まった。この機材展は、印刷の総合機材展として毎年1月に開催されており、今回で62回目を数える。前回は、東海3県下はもとより北海道から沖縄まで全国各地から9,555名が来場した。

Print Doors 2026は、印刷・情報産業の現在と未来を知る2日間、ポートメッセなごや3号館で展開される。印刷・製版・製本・加工など、関連する最新鋭機材の展示から、業界の抱える各種課題解決のソリューションが提案される。主催する光文堂では、「お役に立つヒントが必ずあると思います。光文堂社員もお手伝いさせていただきますので、多くの皆様のおこしをお待ちしております」と、意気込みを語っている。



### 第62回光文堂新春機材展

#### 「Print Doors 2026」

●開催日時= 2026年1月28日(水): AM10:00 ~ PM5:00、1月29日(木): AM9:00 ~ PM4:00

●会場= 名古屋市国際展示場(ポートメッセなごや)3号館(名古屋市港区金城ふ頭二丁目2番地、TEL052-398-1771)

●出展機種: プリプレス・印刷・製版・製本機械及び関連各種機器・資材/情報処理機・複写機及び関連各種機器・資材/紙加工機・包装・運搬機械及び関連各種機器・資材

●展示様式と出品料: 様式= 床上展示、小間の大きさ= 間口3m×奥行3m×高さ2.4m、出展料= 1小間150,000円(税抜き)

●出展申し込み締め切り日: 2025年10月31日(金)

●予定小間数: 350小間



### ●クリエイティブ業界で働く 若手のための交流会の案内

#### 第6回「クリエイターフェスト名古屋」

公益社団法人日本広告制作協会(OAC)が主催する「第6回クリエイターフェスト名古屋」が9月12日に名古屋で開催されるのに合わせ参加者を募集している。

●開催日時: 9月12日(金) 17:00 ~ 20:00、クリエイティブディスカッション及び懇親会。

●会場: Too名古屋オフィス(名古屋市中区栄3-18-1 ナディアパークビジネスセンタービル11F)

●会費: 2,000円(税込)

※前回の実績: 出展企業数153社、展示小間数390コマ

●問い合わせ先: 光文堂新春機材展「Print Doors」事務局

TEL052-331-4113 FAX052-331-4120

#### 【同時開催】

●印刷ビジネス交流コーナー「コラボレーション展」(前回の出展実績58社)

●新春機材展特別セミナー

●総合機材展カタログ「PD2026 プリンティングナビ」発行(見学者に配布する展示会ガイド。ガイドには、機材展出展社の住所、TEL及び出展機械・資材の紹介とコラボレーション展出展者の住所、TEL、出展製品のコメントなどを紹介。展示会終了後においても、ビジネスガイドとして利用されている)

●お楽しみ抽選会

※写真は、ポートメッセなごや3号館

●参加資格: 主にクリエイティブ業界で働く20代~30代の若手社員(職種は問わない)

●定員: 30名先着順(OAC会員でなくても参加OK)

●申込み締切日: 9月8日(月)

●問い合わせ先: 公益社団法人日本広告制作協会事務局 TEL03-3561-1220

## 編集だより

■今年の猛暑は例年より強烈で、熱中症への心配が続いています。事業主への熱中症対策が義務化されましたが、全員で、取り組みやすい職場環境づくりに心掛けることも必要のようです。

## あいの印刷

No.645

令和7年8月10日発行

発行人 酒井良輔  
編集 組織・共済委員会  
発行所 愛知県印刷工業組合  
〒461-0001 名古屋市東区泉一丁目20番12号  
メディアージュ愛知1階  
TEL (052) 962-5771  
FAX (052) 951-0569

◆ホームページアドレス <https://www.ai-in-ko.or.jp/>  
◆E-mailアドレス [jimukyoku@ai-in-ko.or.jp](mailto:jimukyoku@ai-in-ko.or.jp)



**meikami**  
メイカミ

〒461-0018名古屋市長区主税町4-83  
名古屋紙商事株式会社  
TEL:052-931-2221  
FAX:052-932-1418

創造を超えるデザイン、  
心に残る印刷。

デザイン~印刷まで  
トータルサポート

お気軽にお問合せ下さい。

カラー印刷全般

**株式会社 プロスペック**

〒453-0855  
名古屋市中村区烏森町6丁目108番地  
TEL(052)482-3117 (代表)  
FAX(052)482-3118

info@ps-prospec.co.jp https://www.ps-prospec.co.jp/

**Morisawa Fonts**

文字とつながる。世界がひろがる。

Hi, everyone  
Welcome  
Hello  
はじめまして  
ようこそ  
よろしく  
こんにちは  
Nice to meet you

フォントの  
サブスクリプションサービス

morisawafonts.com



**モリサワ**

**Axuas**

印刷用紙は、紙営業本部 TEL (052)220-5511  
紙のプロフェッショナルとして  
「最適」をご提案いたします。

パッケージは、包材営業部 TEL (052)220-5507  
皆様の「包む」を  
サポートいたします。

LED 照明は、開発事業部 TEL (052)220-5518  
地球に優しい  
「LED照明」を中心に省エネ化の  
お手伝いをいたします。

**株式会社 AXUAS**

〒460-0008 名古屋市中区栄一丁目25番35号 https://www.axuas.jp

**heart** 人から人へ心を伝える ハート紙製品

グリーン購入法適合封筒・環境配慮型製品  
名刺・封筒・はがき・カード・賞状・カレンダー

デザイン作成・企画提案から印刷・納品までトータルにサポート  
官公庁・企業様、ユーザー様など幅広くご利用いただいております

**ハート株式会社**  
URL : www.heart-group.co.jp

ISO 9001  
ISO 14001  
FSC C016688  
EMIS 550632  
PM 73877

# 封筒フィーダ搭載で連続印刷可能！ imagePRESS 封筒搬送ユニット

■封筒を補充する際のロスタイムがなくプリンターの性能を最大限に引き出します！

■軽オフの更新時にご検討ください。



**king** キングコーポレーション

〒460-0002 名古屋市中区丸の内3丁目7番23号  
TEL:052-961-7661 FAX:052-961-7662

キング封筒



## SLIM&STRONG その先へ



**KOBUNDO**

全自動カード製造機

### KBD AUTO CardMaker

全自動カード機は、カードやトランプカードの製造に特化した高効率の設備！



- カード紙やトランプ用紙を縦方向および横方向に自動分割します。
- カードサイズに応じて切断サイズを調整可能で、さまざまなサイズのカードやトランプに対応します。
- 切断後のカードを設定されたデザイン順序に従って自動的に積み重ねます。印刷前後の順序を正確に保ち、ずれを防ぎます。
- カードのボンス抜き、縁取りに適合。
- 給紙からボンス抜き迄、全プロセスが自動化されており、作業効率を大幅に向上させ、人件費を削減します。

NEW

昇華型熱転写機

### KBD テキスタイル

1200S/1600/1600S

アパレル向けから、タオル・のぼり・旗等のノベルティまで、幅広く高品質な仕上がりを実現！！



- 連続色安定性
- やさしい操作性

- 【特長】
- 非接触センサーにより転写紙接触面を直接温度管理
  - アンダーペーパー、生地、転写紙、各軸を微調整、加工不良を削減します
  - トルク調節付巻き取り装置

ポリエステル素材へのグラフィック転写なら、KBDテキスタイルにお任せ！

クラウド型入稿・進捗管理システム

### KBD ミエル ミエル

入稿業務と進捗を見える化し、クリエイティブ管理を効率化します。タスク管理ツールは世の中に多数発売されていますが、印刷データ制作に特化した管理ツールはなかなかありません。KBD ミエル ミエルは現場とお客様のやり取りを見える化し、進捗状況の共有を可能にするクラウド型入稿・進捗管理システムです。KBD ミエル ミエルはクリエイティブワークで使いやすく、見てすぐわかるツールとなっています。



NEW

スマホに表示されたPDF上のQRコードがタップできる

NEW

### KBD リンクリンク II



ありそうでなかった新機能！  
印刷物のQRコードは、スマホで読み取るのに、スマホで表示したQRコードのリンク先には飛べない！  
はい、それではタップできるようにしました！



印刷機材の総合商社  
**株式会社 光文堂**

本店 / 〒460-0022 名古屋市中区金山二丁目15番18号 TEL 052(331)4111(代)  
支社 / 東京 支社 / 東北・静岡・金沢・大阪・北九州・福岡 営業所 / 北海道  
青森・山形・千葉・山梨・沼津・浜松・岐阜・福井・富山・京都・徳島・山口・大分・熊本・沖縄

http://www.kobundo.co.jp